

レジメン名

FOLFOX

出典 E-DIS試験

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

食道癌

☒進行・再発

☐補助療法(術前・術後)

☐

☐

投与減量の基準

好中球	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
その他	Grade3以上(末梢性ニューロパチーを除く)		
上記の場合、各薬剤の約20%減量を検討			
末梢性 ニューロパチー	Grade3		
	Grade2が次コース開始時まで持続		
上記の場合、オキサリプラチンの20%減量を検討			

投与中止の基準

好中球	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
その他	Grade3以上(末梢性ニューロパチーを除く)		
その他	末梢性ニューロパチーGrade3以上		

1コース期間 14日

(次のコースまでの標準期間)

総コース数 PDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
エルブラット(オキサリプラチン)	85mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
レボホリナート	200mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	day1
フルオロウラシル(急速静注)	400mg/m ²	NS50mL	全開	day1
フルオロウラシル(持続静注)	2400mg/m ²	輸液適量	46時間	day1

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ポストメディケーション、 溶解液まで含む)
day1 <メイン> ①生食20mL(CVポートよりのルート確認用) ②アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート9.9mg ^{※1} (15分) ※1 アブレピタントを併用する場合デキサートは4.95mg ③エルブラット85mg/m ² +5%糖液250mL(2時間) <側管> ③レボホリナート200mg/m ² +5%糖液250mL(2時間) エルブラットと同時に <メイン> ④フルオロウラシル400mg/m ² +生食50mL(全開) ⑤生食50mL(フラッシュ用) ⑥フルオロウラシル2400mg/m ² +生食αmL 計100mL インフューザーポンプ使用にて46時間で投与